

公民館運営審議会委員募集

公民館運営審議会委員（社会教育の関係者(公募市民)）を募集します。

【審議会の職務】

公民館長の諮問に応じ、公民館事業の企画実施につき、調査審議する。

【資格】18歳以上の市内在住・在勤・在学者

【募集人員】2人(予定)

【選考方法】作文による選考

「公民館と地域の連携について」

を1000字程度にまとめ、住所・氏名・生年月日・電話番号を明記し、2月15日(月)から2月25日(木)(消印有効)までに、〒202-0022 柳沢1-15-1 柳沢公民館へ郵送、または持参(持参の場合は、平日の9時~17時)

【報酬】1回10,800円

【任期】令和3年5月1日~令和5年4月30日(2年間)

【連絡先】柳沢公民館

緊急事態宣言発令中、公民館は午後8時に閉館します

国が緊急事態宣言を発出し、「午後8時以降の不要不急の外出自粛」を住民へ要請したことを受け、1月8日(金)から2月7日(日)まで、市内の公共施設の利用時間が変更されました。

公民館は、午後8時に閉館します。なお、緊急事態宣言の発令期間が延長された場合は、利用時間変

更の期間も延長される予定です。この期間、館内での水分補給を除く飲食はご遠慮ください。

引き続き、事前検温、マスクの着用、手指の消毒、換気、各部屋の利用可能人数以内での活動等、感染予防対策へのご理解、ご協力をお願いいたします。

公民館運営審議会

傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。

時 2月17日(水)18時半~

場 柳沢公民館

内 事業計画・報告について

申 電話で柳沢公民館へ



公民館事業計画検討懇談会

事業計画の策定に必要な事項を検討する懇談会です。傍聴をご希望の方は事前に申し込んでください。

時 2月3日(水)18時半~

場 柳沢公民館

申 電話で柳沢公民館へ

公運審のらら

公民館の移管問題

公運審委員 遠藤 修

令和元年に社会教育法が改正され、公民館を含む社会教育施設が地方自治体の判断により、その所管を教育委員会から首長部局に移管することが可能となりました。

現公民館は戦前の教育制度の反省から、市民の自主的で自由な発想の場を育て、培い、守るために各自治体に設置された教育施設なのです。だからこそその所管は教育委員会に負託されたのです。

戦後75年を経て、時代の変化により公民館法制は後退を余儀なくされた部分もありましたが、健全な考えを持つ自治体は、条例に基づき市民のための公民館を堅持してきたと評価されています。

自治体が必要と判断した時といっても、ことは私たち市民の教育権、学習権にかかわるもので、教育行政の独立が一般行政から守れるのか、専門的な観点からの人事、研修体制が守れるのか、さらに伝

統的に培われてきた公民館の役割が狭められないか等々のデメリットや危険性をはらんでいると指摘されています。

移管を伴う法改正に先立つ中教審の答申では、従来の公民館活動の適切な実現に一定の担保措置を講ずることをうたっています。そのこと自体が移管によってもたらされる懸念があることを、暗に予測している矛盾が見取れます。

西東京市が移管を必要と判断するのはどのような場合なのか予測はつきませんが、そのきっかけ作りは整ったといえます。単に右にならえ方式でなく、十分協議の上、慎重に行ってもらおうべく今後の動向に関心をそらさず、見守っていきたいと思います。



利用者懇談会のお知らせ

利用者みなさんと一緒に、よりよい公民館の運営について考える利用者懇談会を開催します。

併せて、令和3年度の団体連絡箱の使用を希望する団体の調整も行います。使用を希望する団体は、申請書を提出の上、必ずご参加ください。

◆団体連絡箱申請期間

2月19日(金)17時まで

※使用を希望する公民館へ申請書を提出してください。申請できるのは、活動拠点としている1館のみです。

◆利用者懇談会日程

公民館	月日	開催時間
芝久保	3月6日(土)	10時~
谷戸	3月6日(土)	14時~
保谷駅前	3月13日(土)	10時~
柳沢	3月27日(土)	① 小ロッカー希望団体 10時~ ② その他 13時半~
ひばりが丘	3月27日(土)	14時~

◆申し込み方法

締切日までに電話かメールで参加を希望する公民館へ

公民館	申し込み締切日
芝久保	3月3日(水)17時
谷戸	3月3日(水)17時
保谷駅前	3月10日(水)17時
柳沢	3月19日(金)17時
ひばりが丘	3月19日(金)17時

市民企画事業/事業案内

なぜ関東大震災で朝鮮人虐殺がなかったことにしたいの？

市民自治戸端会議

東日本大震災以前に起きた最大の地震・関東大震災時に多くの朝鮮人が虐殺されました。その史実を嘘としたい。その目的、その意図とは…。

時 2月23日(火・祝)14時~16時半

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

講 加藤直樹(ノンフィクション作家)

¥ 100円(資料代)

申 2月2日(火)9時から電話で

災厄をまえに言葉は無力か

—福島原発事故から考える—

放射能測定を考える会・西東京

震災・原発事故、未曾有の災厄に「言葉は無力なのか」「あるいは何かできるか」を問いかけ、無力感に抗う言葉が湧いてくるのをお聞きます。

時 3月7日(日)14時~16時

場 田無公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 30人(申込順)

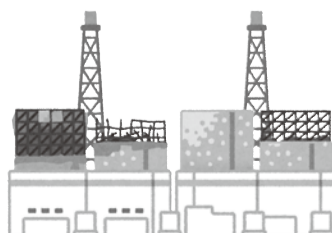
講 藤井貞和(詩人・国文学者)

¥ 300円(資料代・広報費ほか)

※高校生以下無料

申 2月5日(金)から電話で

(18時~21時)



サークルから

会員募集

保谷着付研究会

第1・3金曜日/10時~12時/住吉第二市民集会所ほか/入会金1,000円・月額2,000円(初回無料)

コール・ラベンダー(コーラス)

月4回水曜日/10時~12時10分/保谷駅前公民館ほか/入会金500円・月額4,000円

保谷落語愛好会(落語の実演)

月2回日曜日/14時~16時/下保谷福祉会館ほか

※金額の記載がないものは無料です。

4月1日号の原稿締め切りは、2月19日(金)です。

おたのしみ川柳

今月のお題「電」

感電の恋の刺激も漏電か
家こもりヒーターの額のぼり坂
電球の燈し懐かし母の里

詩織
紅華
ひばり

編集室では、みなさまの投稿をお待ちしています。氏名・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

4月号のお題「生」です

締切 2月25日(木)